

令和4年度第1回秋田市社会福祉審議会児童専門分科会  
認可確認部会会議録

1 日時 令和4年8月9日（火）午後2時～午後3時30分

2 場所 秋田市役所5階 第2委員会室

3 出席者

(1) 委員（4名）

奥山順子部会長、山崎純副部会長、三條正弘委員、渡辺丈夫委員

(2) 事務局

佐藤伸施設指導室長、吉田智紀子ども育成課長ほか関係職員

4 傍聴者 なし

5 会議の内容

○開会

○議事

・特定教育・保育施設の利用定員の設定について

○その他

○閉会

6 議事

○奥山順子部会長

それでは、特定教育・保育施設の利用定員の設定について事務局より説明をお願いします。

【事務局説明】①かんば認定こども園

○三條正弘委員

2～5歳児にかかる保育室の面積について、1人あたり1.98㎡を満たしているのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

保育室と遊戯室を合わせたうえで基準を満たしているものです。

○奥山順子部会長

実際生活するうえでの基準は満たしているものの、基準自体がそこまで十分ではないということもあり、難しいところです。

○事務局（嶋田副参事）

これまで、待機児童対策のための弾力化を含めた園児数の受け入れがあったものですが、今後少子化が始まっていく中で、基準とのバランスを踏まえた園児数に変えていく予定と聞いております。

○奥山順子部会長

遊戯室が1階、3～5歳児保育室が2階にあり、子どもたちが自由に活動できるような保育の工夫が必要であると感じます。

○渡辺丈夫委員

園庭が2つあるが、狭い方の園庭は実際どのような使い方をされているのでしょうか。園庭の面積確保のために軒下の狭いスペースを計算に入れているということはないのでしょうか。

○事務局（佐藤施設指導室長）

現地確認での聞き取りの際、広い側の園庭は大きい子どもたち、狭い側の園庭は小さい子どもたちが使っているということでした。また、近隣の街区公園も使いながら、活動を行っております。

幼保連携型ではなく保育所型ですので、合算の面積で基準を満たしているものです。本来であれば園庭は1つにまとまっているのがよろしいかと思いますが、住宅地にある同園の立地上、土地を広げるのは困難なものです。

○奥山順子部会長

0～2歳児が大きい子どもに邪魔をされないで活動するスペースが必要ですので、そういう意味でも上手に園庭を活用していただければと思います。

○奥山順子部会長

0歳児の現員8名、利用定員が21名となっていますが、今後どれくらいの園児が確保できるのでしょうか。

○事務局（佐藤施設指導室長）

7月1日現在の現員は8名、8月1日現在では10名となっており、最終的には20名前後となる見込みです。

○渡辺丈夫委員

8月1日現在の入所状況を見ると、0歳児の受け入れ可能児童数は南部地区で11名、また、中央地区にある同園の近隣の園も含めると16名が受け入れ可能となっています。そこに加えて同園では0歳児の定員を大幅に増やそうとしています。そこまで子どもの数はいないのではないのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

現在定員は各年齢区分20名ずつの120名となっています。今回認定こども園への移行にあたり、現在の入所状況から2・3号を130名に増員、1号認定の利用定員6名を新たに設定し、計136名としようとするものです。現員は8名ですが、今後10名前後入ってくる予定であること、昨年度の園児数23名であったことから20名前後の利用が見込まれるものです。

○奥山順子部会長

現状、同園ではこの園児数が確保できる見通しがあるということですね。全国的に見ると、もう2～3年ほどで待機児童は解消に向かい、0歳児は定員割れが

出ているということもあるので、注視していかないといけないと思います。

○渡辺丈夫委員

特別支援を必要とする子どもの受け入れもしたいということですが、そのための職員は確保されているのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

2～3年前まで同園では支援を必要とする子どもを受け入れていた経験があり、必要に応じて体制を整えていくことになります。

○奥山部会長

サポート事業も受けられており、指導計画等もかなり見直しされたものと思いますが、年間指導計画の指導や配慮の内容は、子ども主体の遊びを中心とする生活を通して、それぞれの時期にふさわしい育ち・発達につながる内容を検討し、さらに充実させるよう引き続き努力していただきたい。

### 【事務局説明】②将軍野幼稚園

○渡辺丈夫委員

認定こども園への移行についてはどう考えているのでしょうか。

○事務局（佐藤施設指導室長）

将軍野幼稚園については、認可保育所のキッズステーションしょうぐんのを設置しておりますが、同一法人の飯島・手形山幼稚園については、乳幼児の調乳室等の設備が不足しているということもあり、認定こども園への移行となると、まずは将軍野幼稚園から検討したい旨を法人から聞き取りしています。

○山崎純副部会長

平面図を見ると、年少児・年中児が各2部屋に対し、年長児の部屋が1室しかないようですが、人数に対して面積が狭い等の問題はないのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

お手元の平面図と現状が異なっておりました。

平面図で特別支援室となっている部屋を現在は活用しており、各年齢ごとに2部屋ずつの利用となっています。

○渡辺丈夫委員

満3歳児は独立して1部屋となっていますが、4月当初にはまだ満3歳児となっていない2歳児のお子さんはこの部屋には入っていないのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

入れています。1号認定のお子さんと幼稚園型Ⅱの一時預かりのお子さんが混在している形です。

○渡辺丈夫委員

2歳児の設備基準の適用にはならないのか。

○事務局（嶋田副参事）

幼稚園型Ⅱは幼稚園でできるとされていますので、2歳児に対する一時預かりの設備基準は特にありません。認定こども園の場合は沐浴設備等が必要となりま

すが、同園ではシャワー設備がありますので、沐浴設備は設置されていることになります。

○山崎純副部長

市では毎年在宅世帯数等の数値を公表していますが、一時預かりの世帯は「在宅」での子育て世帯となるのでしょうか。

○事務局（吉田子ども育成課長）

在宅の数値を出す場合は、入所しているかどうかで判断しているため、基本的には在宅に入ります。

### 【事務局説明】③飯島幼稚園

○三條正弘委員

平面図で保育室A～Iまでありますが、年少、年中等のクラス別ではどのような利用になっていますでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

A～Cが年少および満3歳児クラス、D・Eが年中クラス、G・Hが年長クラスとなります。

○山崎純副部長

感染症対策のための換気については大丈夫なのでしょうか。

○事務局（佐藤施設指導室長）

現地で確認したところ、窓を開けて換気をしており、基本的な対策は行われておりました。場所的に海が近く風も吹く地域であり、園庭も広く周りに建物もなく、風通しがいいところだという印象を持っています。

○山崎純副部長

冬場のことも考えると、窓だけではなく自動換気が必要な設備になってくるため、今からでも対策をしっかりとさせていただければと思います。

○事務局（佐藤施設指導室長）

来年度からは当室が指導等できる立場になりますので、いただいた意見を踏まえた指導を行っていきます。

○奥山順子部長

3歳児の現員26名には満3歳児も含まれているのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

現員には満3歳児が4名含まれています。

○奥山順子部長

利用定員38名のうち満3歳児12名、3歳児26名となっていますが、園児の確保については大丈夫なのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

今までの経験則を基にした数値であると聞いており、各年齢26名をベースにした定員設定となっております。

また、現在想定されている園児数により、学級数は13名を1クラスとして資

料を作成しておりますが、来年度の園児数が決まり次第、学級数を調整すると聞いております。

○渡辺丈夫委員

利用定員数を設定することについて了承した後、学級数については増減があってもいいのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

1号定員の総数を設定していただくものであり、どう切り分けするかは園の判断となります。

○奥山順子部会長

給付型への移行理由の中で、職員の待遇も含めた経営上の問題という説明がありました。学級数が1クラスか2クラスとなるかは非常に大きい問題だと思います。

○渡辺丈夫委員

1クラスにしてしまうと先生が余るといった問題が生じてしまう。給付型への移行に伴い、この方が有利だと判断されたのではないのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

学級数をどうするかについては園からも相談を受けていましたが、市としてこうしてほしいという話はないので、園の判断で提出されたものです。

○渡辺丈夫委員

認可定員は変わらないのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

変える予定は今のところありません。

○三條正弘委員

4歳児が1クラスとなっているが、間違いではないのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

事前に確認しましたが、間違いではありません。

#### 【事務局説明】④手形山幼稚園

○質疑応答なし

#### 【事務局説明】⑤わかば幼稚園

○山崎順副部会長

平面図で、はな組とはな2組がありますが、3歳児のみ2クラスとなるのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

はな2組が満3歳児クラスとなります。

○奥山順子部会長

将来的には認定こども園への移行ということですが、施設設備の改築等を視野

に入れているのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

改築等の話は今のところ出てきていませんので、現状の設備を使つての認定こども園移行を想定しているようです。

○渡辺丈夫委員

調理員4名に対し教諭6名となっていますが、調理員は幼稚園だけではなく全体の調理を行っているのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

調理員はわかばベビー保育園との兼務ですが、教諭は幼稚園の専任となっており、人員基準は満たしています。

○奥山順子部会長

学級数3に対して、教諭6名の内訳はどうなっていますか。

○事務局（嶋田副参事）

5歳児専任が2名、4歳児専任が1名、満3歳児を含めた3歳児専任が2名、障がい児保育の専任が1名となっております。

○奥山順子部会長

預かり保育は非常勤の職員でしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

はい、教育補助員がおりますので、教諭と教育補助員でシフトを組んで行っております。

○奥山順子部会長

基準は満たしていると思いますが、この体制で外部の研修に出かける等はかなり厳しいのではないのでしょうか。休みがとれるかどうかも気になります。

○事務局（佐藤施設指導室長）

現状では県に指導監査権限があり、市からは強く指導ができませんが、来年度からは給付型となりますので、本日いただいた意見を踏まえて指導・助言を行っていきたいと思います。

○奥山順子部会長

確認あるいは認可・認定の機会が、変わるチャンスであり、その機会を逃してはいけないので、担当が変わることもあり、伝えて欲しいです。

○山崎純副部会長

各園、教諭の人数は増やすのでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

加賀谷学園は採用計画に基づき採用するという話があります。わかば学園については増やしたいという話は聞いていますが、詳しいところは分かりません。

○山崎純副部会長

園児数が増えると1人の先生が受け持つ人数が増えるため、質の高い教育・保育を求めるのであればレベルを上げていかなければいけないが、実際の話、大変だという現場の声が聞こえてくるような気がします。

○奥山順子部会長

0～2歳児は定員数が増えると職員数に大きな影響がありますが、幼稚園については定員数が増えても、学級数に変化がなければ大丈夫ではないでしょうか。

○事務局（嶋田副参事）

部屋の数を増やすことは現時点ではできないので、職員数はこのとおりとなります。ただ、園長はシフトを組んでいく中で、職員数が不足だと感じており、採用を考えているようです。

○渡辺丈夫委員

預かり保育の職員は別勘定となっていて、ここには上がっていませんが、実態はわかばベビー保育園から子どもが上がってくると長時間保育のお子さんが多いはずです。

○山崎純副部長

施設に預けたくても職員数が足りない等で断られることも多いと聞いていますので、園児に対して影響がなければいいなと思います。

○奥山順子部長

ほかにはよろしいですか。ないようですので、これを持ちまして、議事を終了いたします。